

### ～街路樹サポーターの皆様へ～

春の陽気が待ち遠しい今日この頃となりました。日々、まちの美化に取り組んでいただき、ありがとうございます。

今年度、新たに14団体160名(2月現在)の市民の皆様が街路樹サポーターにご登録いただきました。京都市では、今後も引続きこの輪が広がるように努力してまいります。今後ともご協力よろしく申し上げます。



### ～街路樹に関する主な事業～

#### 花の道づくり事業

南部地域や観光地周辺等の沿道において、花と緑豊かなまちづくりを推進するため、街路樹のない歩道への新規植栽や、老朽化等が進行している街路樹を樹種転換する事業です。平成27年度は三条通、桂川街道等の路線で、ハナミズキ、ヒトツバタゴ等を植栽しました。



老朽化したエンジュをサクラに植替えを実施(新城南宮道)

#### 桜景観創造プロジェクト

市内の美しいサクラ並木を保全・継承していくため、樹勢診断調査を行い、その結果に基づいて老朽化等が進行しているサクラを更新する事業です。

平成27年度は川端通、白川疏水通、加茂街道等で更新を行いました。



川端通のサクラ並木の状況

### ～サポーターの紹介～

今回は中京区の「京都土木協会青年部」様をご紹介します。同会では、御池通において7名で活動いただいています。



### 樹木の病虫害

#### ～プラタナスグンバイ～

プラタナス特有の害虫で、毎年7月～9月頃に発生します。洗濯物や布団に付着したり、プラタナスの葉裏に付着して養分の吸汁することによって、葉表を白色化させるため、景観上問題となっています。

京都市では、それらの対策に加え、老朽危険木対策として、プラタナスを紅葉の美しい街路樹に樹種転換を図る「紅葉景観創造事業」に取り組んでいます。



(体長2～6mm程度で、人体には無害です。)

## ～シリーズ 街路樹紹介（第9回）～

本シリーズでは、街路樹の特徴等を紹介しています。今回は、平成27年度桜景観保全創造プロジェクトで二条通に植栽した「ヤエベニシダレ」（福島県産）です。

サクラの植栽趣旨は、東日本大震災において福島県の皆様が未曾有の災害といわれのない風評被害等に耐え忍んでおられることに対し、心や行動を寄せていただくとともに、福島県民との京都市民の「絆」が一層強まり、お互いに交流が深まることを期待し植栽したものです。

### 【特徴等】

- ・サクラの仲間バラ科の落葉高木。枝が長く垂れ、花は下垂し、開花は葉に先行します。
- ・江戸時代から栽培されている品種です。
- ・花が八重咲きのシダレザクラで、別名エンドウザクラと呼ばれています。明治時代、仙台市長であった遠藤庸治氏が仙台市内に植えたことに由来しています。
- ・同氏は、平安神宮にも献上し、平安神宮の同桜は谷崎潤一郎の「細雪」や川端康成の「古都」にも登場する程の著名な品種です。
- ・その他、仙台八重紅枝垂、仙台小桜、平安紅枝垂れとも呼ばれています。
- ・京都市内では、4月中旬に見頃を迎えます。



ヤエベニシダレの花



今回植栽したサクラ

## ～サポーターの皆様へのお願い～

※以下の行為について、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

- ・街路樹の植樹柵内に「柵」や「置物」等の構造物を設けないでください。
- ・草花の植付を認めている方について、「トゲのある植物」「草丈の高くなる植物」の植付は通行の支障、視認性の阻害となります。
- ・作業中の怪我や事故のないよう、活動周辺の「安全管理の徹底」をお願いいたします。

## ～サポーターの現況～

平成28年2月末現在、94団体1,577名の方々に街路樹サポーターとしてご登録いただいております。各団体の皆様には、落葉清掃や除草等の美化活動にご協力いただいております。年々その輪は広がっています。

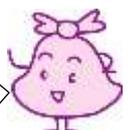
京都市建設局みどり政策推進室 平成28年3月発行

〒604-0911 京都市中京区河原町二条上る清水町359 ABビル3階  
TEL 075-741-8600 FAX 075-212-8704

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu4/category/57-9-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



京都市印刷物 第275530号